



都市マネジメント分科会

加古川市におけるスマートシティの取組み

KAKOGAWA SMART CITY PROJECT

加古川市について

県下最大の一級河川「加古川」が市の中央部を流れる東播磨地域の都市

人口：258,109人
世帯：108,791世帯
総面積：138.48平方キロメートル
(令和4年9月1日時点)

兵庫県

加古川市

姫路

神戸

Profile of
加古川

様々な文化や技が行き交った歴史は、今なお色とりどりの個性として街をかたちづいています。



安全・安心のまちづくりに向けた取り組み

■ 見守りカメラ

- 平成29～30年度に小学校の通学路や学校周辺を中心に約**1,500台**（各小学校区：50台程度）設置
- 導入にあたり、市民へのアンケートやタウンミーティング等を開催
- “加古川市見守りカメラの設置及び管理に関する条例”を新規制定
- 設置場所についても、町内会やPTAの要望、警察署のアドバイス等を反映

見守りカメラ設置場所
(赤点箇所)



ALSOK見守りタグ



まちなかミマモルメ



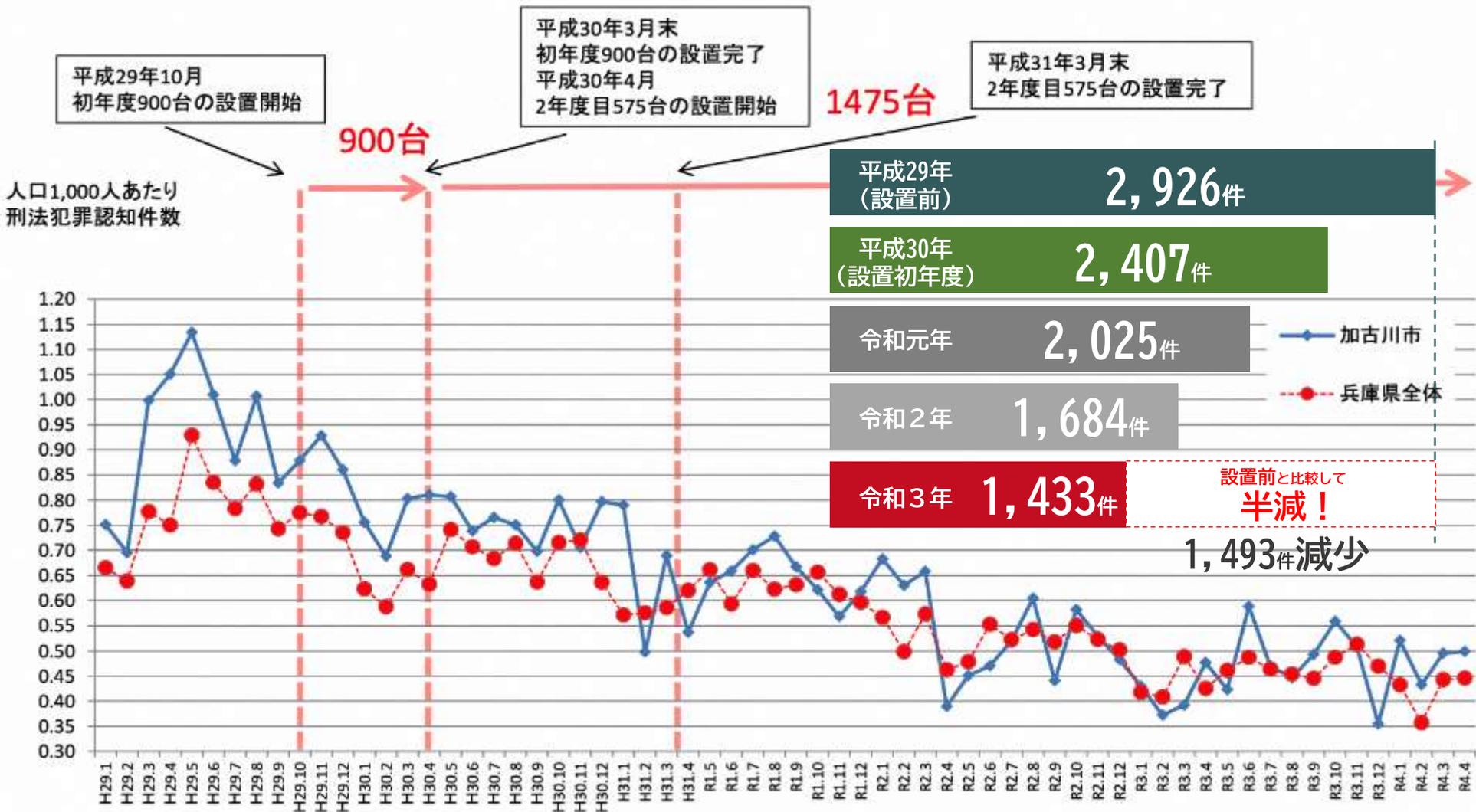
見守りカメラ



設置されていることを知らせる電柱幕

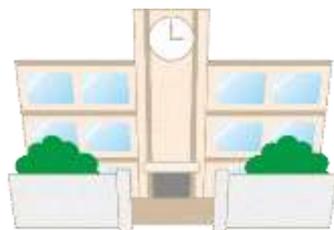


刑法犯罪認知件数の推移 (H29.1~R4.4)



見守りサービス（官民協働事業）

■ BLEタグを活用した見守りサービス



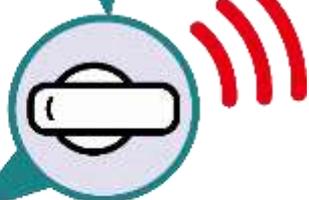
見守りBLEタグ



ミマモルメ



ALSOX
Nearby Security CC



固定式検知器
見守りカメラ (1,475台)

移動式検知器

V2Xユニット



もうすぐ
帰ってくるわ



かこがわアプリ(4,527ユーザー)
(自治体向けスマートフォンアプリ)



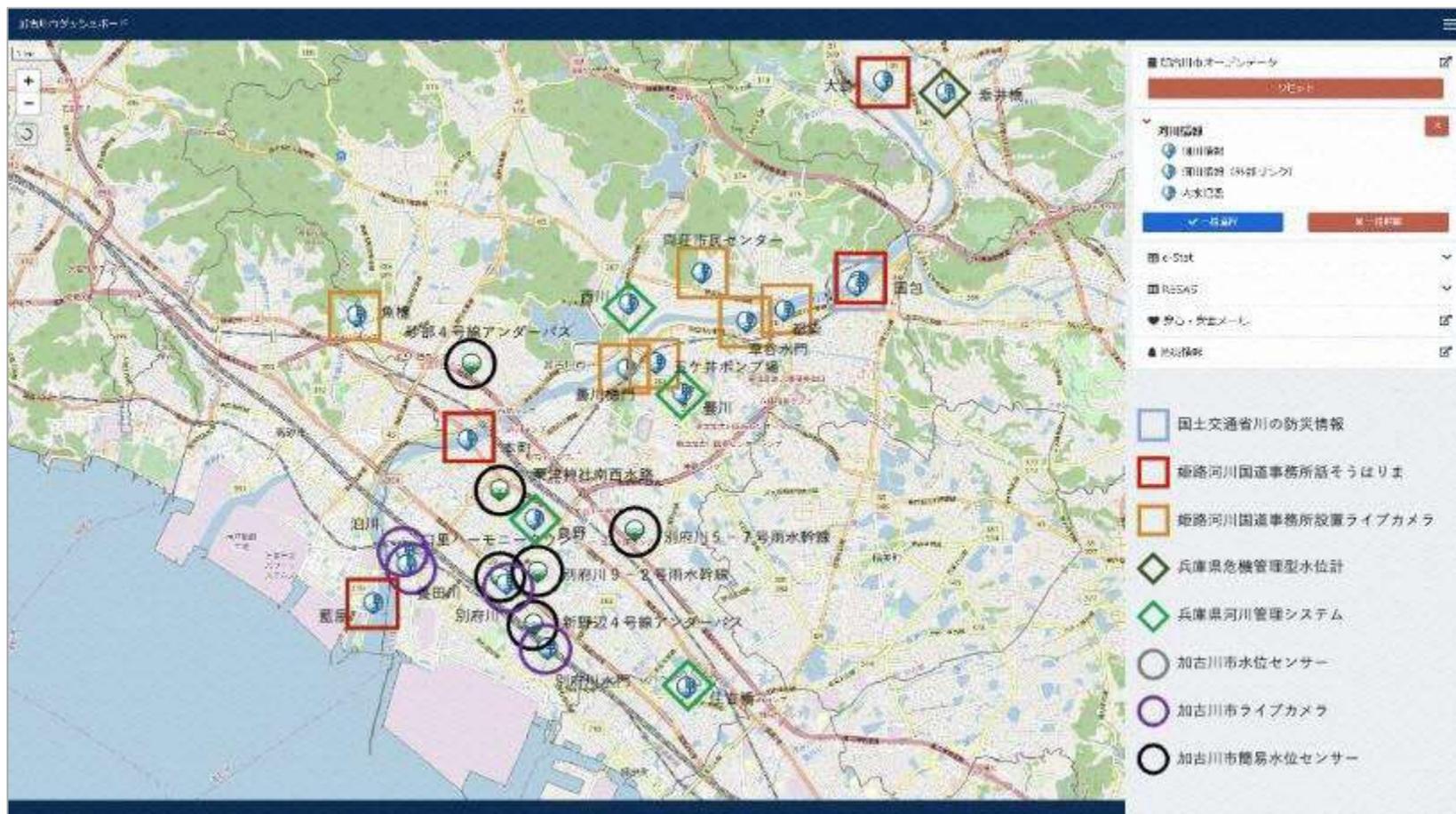
公用車 (265台)



郵便車両 (176台)

API連携による様々なデータの活用

- API連携による国・県が保有する広域の災害情報を統合
 - 市民が必要な情報を手に入れやすいよう、分かりやすい情報の整理、データの活用方法の例示などを合わせて検討



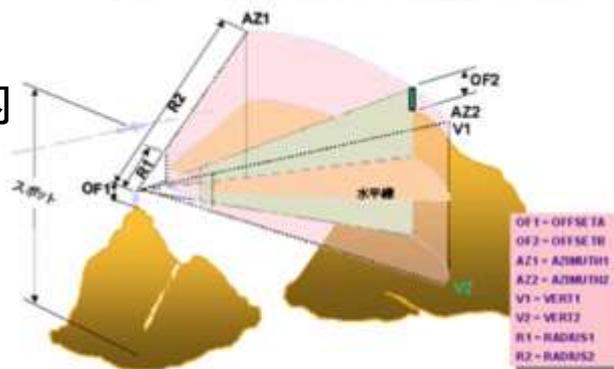
次世代見守りサービスのリニューアル検討に係る実証



- Step 1. 3D都市モデル上への見守りカメラの可視領域の可視化
- Step 2. 関連データの収集と重畳
- Step 3. 見守りカメラのカバー範囲の確認、見直しパターンの検討

駅周辺の9小学校区内
約500台分を検証

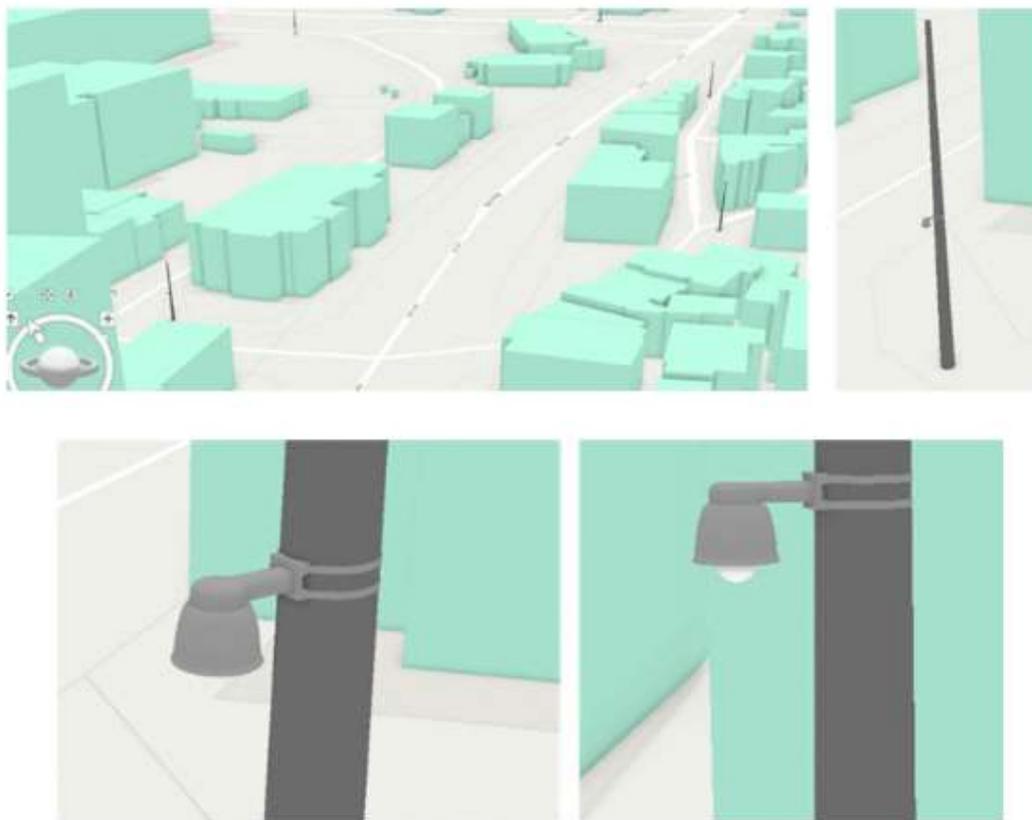
加古川小、氷丘南小、野口小、
野口南小、平岡小、平岡南小、
浜の宮小、別府小、別府西小



可視解析結果のサンプル (画角パターン)

3D カメラ・電柱モデルの作成

- 3D都市モデル内の配置イメージの作成
 - 電力会社や通信会社が設置している電力柱、電信柱
 - 見守りカメラ・検知器ケース



Decidimの導入

- Code for Japan と協定を締結（R2年10月）し、Decidimを導入
 - 市民参加型合意形成プラットフォームとして、国内で初導入



2022.9.20現在
ユーザ数 : 1,154
トピック数 : 26

アクティブな参加型プロセス

新たに完成する複合施設の愛称募集（加古川東市民病院跡地整備事業）※愛称が決定しました！
アクティブフェーズ 最終決定フェーズ

加古川河川敷のにぎわいづくり（かわまちづくりプロジェクト）
アクティブフェーズ アイデア検討フェーズ

みんなが使えるスマホ講座
アクティブフェーズ 初級編フェーズ





加古川市スマートシティ構想

基本理念

誰もが豊かさを享受できる スマートシティ加古川

～「幸せを実感できるまち加古川」の実現に向けて～

スマートシティ推進の5 原則

(1) 透明性とプライバシー保護 (Transparency & Privacy)

データの利活用にあたっては、市民の皆さんのプライバシーの保護に十分な配慮を行います。また、市の意思決定過程における透明性の確保に努めるとともに、設置する機器に対するプライバシーリスクの潜在的な影響や脅威を評価したうえで設置します。

(2) 安全・安心・回復性 (Safety, Security & Resiliency)

自然災害、不慮の事故、情報セキュリティなどによる障害が発生した場合でも、最低限の機能が維持しながら、早期に回復できる能力を確保するように努めます。

(3) 相互運用性とオープン性 (Interoperability & Openness)

ICT技術導入の際は、システム間において様々なデータに接続することが可能となる相互運用性を担保しながらエコシステムの実現を図ります。また、データが広く社会において適正に使用されるように、組織間の壁を意識せずデータ利活用が最大限に行われるように努めます。

(4) 公平性、社会的包摂、社会的影響 (Equity, Inclusion & Societal impact)

あらゆる人材が能力を最大限発揮し、やりがいを感じられるような社会を実現するために、サービスや機会損失を発生させず誰一人取り残さないように努めます。また、その社会への影響を評価し、市民生活の向上と環境保全に努めます。

(5) 運用面と財政面の持続可能性 (Operational & Financial Sustainability)

スマートシティの実現においては、運用面・財政面の両方から持続可能でより効果的・効率的な事業であることを確認しながら実装するように努めます。

スマートシティ推進の基本目標

基本目標1【市民】市民のQOLや利便性を向上するサービス

- ① いつでもどこでもできるストレスフリーな行政手続の実現
- ② 誰にでもやさしい窓口環境の実現
- ③ 欲しい情報がすぐ手に入る効果的な情報発信
- ④ 安心して子育てをできるまちづくり
- ⑤ 高齢者にやさしいまちづくり
- ⑥ GIGA スクールの推進 (デジタル教育)
- ⑦ 行政情報の見える化

基本目標2【まち】都市機能の強化や都市課題の解決

- ① 快適に移動できるまち
- ② 安全・安心のまちづくり
- ③ 災害に強いまちづくり
- ④ にぎわいのあるまちづくり
- ⑤ インフラの整備及びメンテナンス

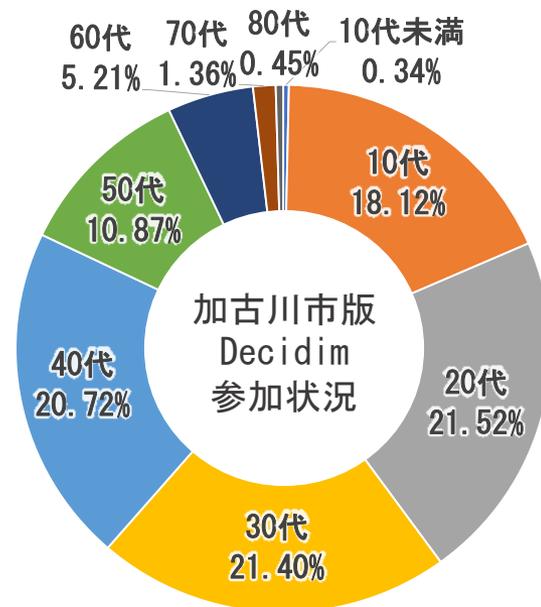
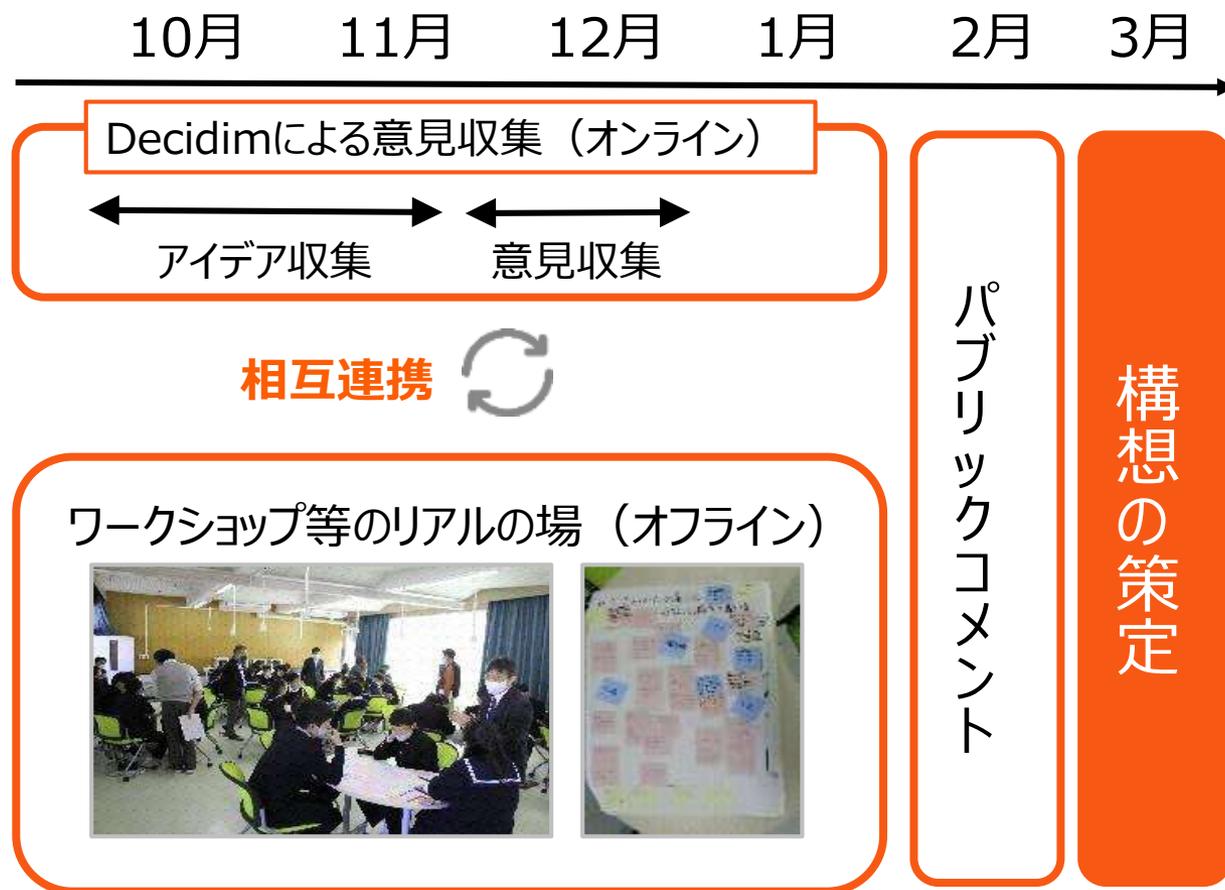
基本目標3【行政】デジタル行政の推進

- ① 情報のデータ化によるスムーズな窓口対応
- ② 最新技術による徹底した業務効率化
- ③ どんな時も業務継続を可能とする体制づくり
- ④ 多様なデータの利活用による新たな行政サービスの実現
- ⑤ スマートシティアーキテクトの育成



オンラインとオフラインを同時並行で

- Decidimの一方で、ワークショップなどのリアルな議論の場も併せて開催



若い世代の参画！

かわまちづくりの意見募集

■ かわまちづくりとは

- 加古川駅に近い広大な河川敷空間を、自然と触れ合える新たなにぎわい空間とすべく、**かわまちプロジェクト**が進行中

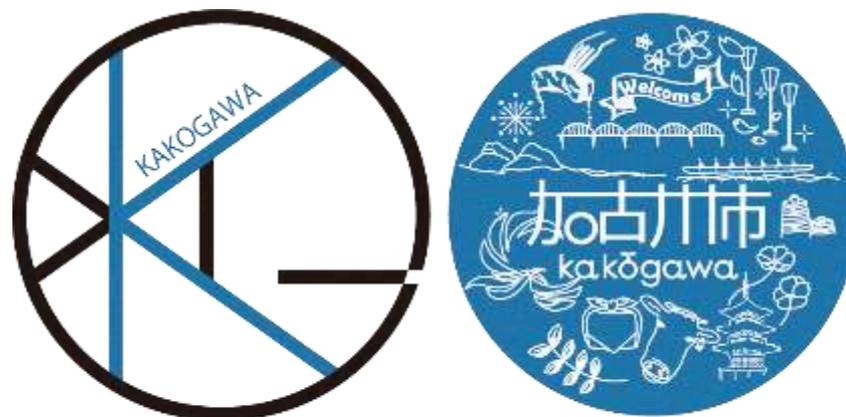
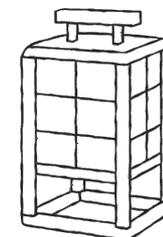
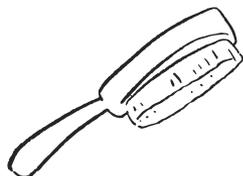
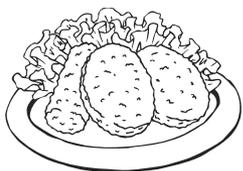


■ Decidimの活用

- Decidim上で、加古川河川敷における「魅力」や「やりたいこと」について、気づきやアイデアを出し合う
- “**かわまちづくりシンポジウム**（R3年6月27日）”などのリアルの場も開催



ご清聴、ありがとうございました！



KAKOGAWA CITY



ふるさと納税はコチラ